



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月14日

上場会社名 株式会社アスモ 上場取引所 東
 コード番号 2654 URL http://www.asmo1.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 尊
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 (氏名) 重清 安雄 TEL 03-6911-0550
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	9,061	0.5	383	△0.7	380	0.7	267	△7.8
28年3月期第2四半期	9,015	7.7	386	△23.6	378	△26.1	290	22.6

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 212百万円 (△26.4%) 28年3月期第2四半期 289百万円 (△5.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	1.91	—
28年3月期第2四半期	2.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	6,195	4,208	66.1	29.21
28年3月期	6,050	4,135	66.2	28.58

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 4,095百万円 28年3月期 4,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,881	4.0	996	23.0	1,040	27.5	769	25.5	5.49

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.6「2. サマリー情報(注記事項)に関する情報(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	151,451,750株	28年3月期	151,451,750株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	11,244,049株	28年3月期	11,244,049株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	140,207,701株	28年3月期2Q	140,208,210株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
(4) 追加情報	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調で推移したものの、イギリスのEU離脱等為替や株価の不安定な動きがある中、企業収益を悪化させるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、お客様の利便性等を追求することで購買機会の増加・シェアの拡大を図ってまいりました。今後におきましては、シェアの拡大によるスケールメリットを発揮することで各種コストの見直しを図り、利益の確保に努めてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,061百万円（前年同四半期比 0.5%増）、営業利益383百万円（前年同四半期比 0.7%減）、経常利益380百万円（前年同四半期比 0.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、267百万円（前年同四半期比 7.8%減）となりました。

主な事業別の状況は次のとおりであります。

セグメント名称 (セグメントに該当する会社)	主要な事業の内容	
アスモ事業 (株式会社アスモ)	グループ会社の統制・管理、不動産賃貸	
アスモトレーディング事業 (株式会社アスモトレーディング)	食肉の輸出入、食肉及び食肉加工品の販売	
アスモフードサービス事業 (株式会社アスモフードサービス) (株式会社アスモフードサービス首都圏) (株式会社アスモフードサービス東日本) (株式会社アスモフードサービス中日本) (株式会社アスモフードサービス西日本)	高齢者介護施設等における給食の提供	
アスモ介護サービス事業 (株式会社アスモ介護サービス)	訪問・居宅介護事業所の運営、有料老人ホームの運営	
ASMO CATERING (HK) 事業 (ASMO CATERING (HK) CO., LIMITED)	香港における外食店舗の運営	
そ の 他	(サーバントラスト信託株式会社)	信託商品の販売
	(アスモ少額短期保険株式会社)	保険商品の販売
	(ASMO CATERING (TAIWAN) COMPANY LIMITED)	台湾における外食店舗の運営

① アスモトレーディング事業

アスモトレーディング事業におきましては、人手、車両不足を背景にした物流費の上昇や販売競争の激化により、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような中、当事業ではこれまで取り組んでまいりましたメキシコ産牛肉の拡販におきまして、品質面において豪州産牛肉、価格面において米国産牛肉との差別化も図れ、安定した顧客と利益を確保できるようになりました。

一方、グループ内でのシナジー効果を目指した介護用の加工品開発も進み、当該期間内に新たに新製品が増えました。

通販部門におきましても、従来の銘柄牛やローストビーフ、ローストポークの他に、新たに牛タンの販売も開始しました。

以上の結果、期初の計画でもありました、売上高の追求から内容重視の利益追求をした結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,435百万円（前年同四半期比 0.4%減）、セグメント利益(営業利益)は、47百万円（前年同四半期はセグメント損失19百万円）となりました。

今後においては販路の拡大と新製品の増強に努めてまいります。

また、今後当事業の核となります、「国内外を問わず、広く生産者から原料を仕入れ、委託加工先で加工し、グループ内を始め広く販売の横展開を図る」べく、委託加工先や販売先の開拓も進めており、今後のグループ全体の利益に貢献してまいります。

② アスモフードサービス事業

アスモフードサービス事業におきましては、高齢者介護施設以外から幅広い分野において受注先が増加し、収益向上のための不採算受託施設の契約解除を並行し行ったことにより、売上高、営業利益はともに堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,814百万円（前年同四半期比 4.4%増）、セグメント利益(営業利益)は、193百万円（前年同四半期比 0.5%増）となりました。

今後におきましては、引き続き堅実に増収増益を維持できるよう、基盤の強化に努めてまいります。また、様々な年間行事やイベントを企画し、常にお客様に喜んでいただけるご提案をすることで、給食提供の質の向上を図ってまいります。

③ アスモ介護サービス事業

アスモ介護サービス事業におきましては、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所および有料老人ホーム運営事業を営んでおり、当第2四半期連結累計期間につきましては、平成27年4月の介護保険法の改正による介護報酬大幅減、恒常的な人手不足に伴う人件費の上昇など、足元・先行きとも非常に厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、ご利用いただける機会を増やすことを目的に積極的に事業所の開設を進め、ご利用者の獲得に努めております。当第2四半期連結会計期間末現在、訪問介護事業所38事業所（前年同四半期末は38事業所）、居宅介護支援事業所12事業所（前年同四半期末は12事業所）、ご契約者様は、1,731名（前年同四半期末は1,673名）。有料老人ホーム3施設（前年同四半期末は3施設）、ご入居者様数は83名（前年同四半期末は53名）となり、ご契約者様、ご入居者様数は前年同四半期末と比べ増加しておりますが、新規有料老人ホームの入居一時金収入が減少したことにより、増収減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,392百万円（前年同四半期比 1.1%増）、セグメント利益(営業利益)は、231百万円（前年同四半期比 8.1%減）となりました。

今後ともご利用者の獲得に努めていくとともに、介護人材育成に注力していくことで、より良い人材の確保と定着率向上に努め、介護サービスの質の向上を図ってまいります。

④ ASMO CATERING (HK) 事業

ASMO CATERING (HK) 事業におきましては、収益改善を図るべく、新たにコスモスハウスコーンヒル店をオープンしました。コスモスハウスコーンヒル店は、香港島に位置する最も日本人が多く住む郊外都市である地下鉄MTRの太古城(タイクーン)駅の真上にあるモールに出店しております。

店名は、『Cosmos House Pancake Cafe』で『パンケーキを中心としたデザートメニューが豊富な洋食ファミリーレストラン』というコンセプトにてメニューおよびショッピイメージの組み立てを行いました。近年の香港におけるカフェブームもあり8月5日のオープンより好調に推移いたしております。一方、チュン湾山頭火店、半山秋桜屋店を閉店したことが収益に与えるマイナス要素となっており、加えて円高傾向により物流部門の収益においても昨年と比較して大きく落ち込んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,044百万円(前年同四半期比 11.8%減)、セグメント損失(営業損失)は、1百万円(前年同四半期はセグメント利益24百万円)となりました。

第3四半期以降については、日系スーパー一田(YATA)の食品売り場に併設した小型フードコートタイプにチュン湾一田虎蔵食堂店のショッピを10月1日にオープンしました。一田(YATA)の出店は今後も継続するとみられ、当社の最も収益を上げている店舗の沙田秀吉店も同スーパーにあることから、今後も同社と協力関係を継続し収益拡大に努めてまいります。

⑤ その他の事業

a. サーバントラスト信託株式会社

その他セグメントに含めておりますサーバントラスト信託株式会社は、管理型信託事業を営んでおります。信託事業では、「特定贈与信託」「ペット飼育費保全信託」「老い支度サポート信託(遺言代行信託を含む)」「不動産管理信託」などの個人向けの信託商品のほか、「葬儀費用管理信託」「顧客分別金管理信託」「不動産証券化信託」「エスクロー信託」などの法人向けの信託商品の販売にも努めました。

営業面以外に、経費節減にも努めた結果、前年同月比での増益を実現しております。

引き続き、積極的な営業活動を行っていくとともに、グループ主要事業である介護事業とのシナジーを図りながら、新規信託契約の獲得ならびに売上増加に努めてまいります。

b. アスモ少額短期保険株式会社

その他セグメントに含めておりますアスモ少額短期保険株式会社は、少額短期保険事業を展開しており、生命保険商品3種類(生命定期保険、入院保障付生命定期保険、無選択型生命保険)と損害保険商品(高齢者施設入居者家財保険)を販売しています。

特に、昨年より販売を開始いたしました高齢者施設入居者家財保険「転ばぬ先の杖」は数社の有料老人ホーム運営会社と代理店契約を締結し、入居者様への販売を開始いたしております。また、新たに有料老人ホーム紹介会社との提携も進み、紹介案件への保険付帯という本業支援スキームにより契約を獲得するスキームが固まりつつあり、この秋より、大手紹介会社を中心に本格的に販売が進んでいく予定です。従来の生命保険商品に加え、損害保険商品の販売を増やしていくことにより、収入保険料の増加に向け、進んでまいります。

c. ASMO CATERING(TAIWAN)COMPANY LIMITED

その他セグメントに含めておりますASMO CATERING(TAIWAN)COMPANY LIMITEDは、平成26年4月にオープンいたしました台北市内天母そごう店の台湾の一号店『日本料理 今助』においては、天母地区の商圈の縮小に歯止めがかからず、当店にも大きく影響しております。その他フードコート2店においても当初の目標を売上には届いておらず、台湾事業においては不採算店舗の早期撤退や要員の見直し、事務所移転により経費削減など、一旦縮小する方向で進めております。

しかしながら低迷する天母そごう店内においても『日本料理 今助』には固定客が多く台湾における今後の展開は同業種に絞り取り組んでまいりたいと存じます。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、371百万円(前年同四半期比 1.8%増)、セグメント利益(営業利益)は、1百万円(前年同四半期比 90.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は6,195百万円となり、前連結会計年度末に比べ144百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が21百万円、無形固定資産が33百万円、投資その他の資産その他が91百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,986百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が50百万円、賞与引当金が7百万円、退職給付に係る負債が11百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は4,208百万円となり、前連結会計年度末に比べ72百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が127百万円増加し、為替換算調整勘定が48百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は66.1%（前連結会計年度末は66.2%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2,200百万円となり、前連結会計年度末より21百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、300百万円（前年同四半期は452百万円の獲得）となりました。これは主に、法人税等の支払額116百万円の支払に対し、税金等調整前四半期純利益380百万円及び減価償却費66百万円の非資金項目等の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、175百万円（前年同四半期は292百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出65百万円、建設協力金の支払による支出80百万円、及び投資有価証券の取得による支出27百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、73百万円（前年同四半期は124百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額119百万円等に対し、短期借入れによる収入50百万円等の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月12日「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,248,617	2,270,098
受取手形及び売掛金	1,850,959	1,847,893
商品	273,705	272,864
貯蔵品	13,586	15,958
その他	498,563	522,564
貸倒引当金	△1,842	△1,919
流動資産合計	4,883,590	4,927,460
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	305,033	280,300
有形固定資産合計	305,033	280,300
無形固定資産		
のれん	54,623	44,691
その他	15,030	58,373
無形固定資産合計	69,654	103,065
投資その他の資産		
その他	1,107,243	1,198,919
貸倒引当金	△314,539	△314,479
投資その他の資産合計	792,703	884,439
固定資産合計	1,167,391	1,267,805
資産合計	6,050,981	6,195,265
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	478,944	470,826
短期借入金	—	50,000
未払法人税等	124,576	97,297
賞与引当金	205,730	212,834
その他	964,354	967,064
流動負債合計	1,773,606	1,798,023
固定負債		
退職給付に係る負債	125,927	137,890
その他	15,512	50,965
固定負債合計	141,439	188,855
負債合計	1,915,046	1,986,879

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
利益剰余金	1,620,715	1,747,924
自己株式	△42,448	△42,448
株主資本合計	3,901,539	4,028,748
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△87	△214
為替換算調整勘定	124,216	76,156
退職給付に係る調整累計額	△18,332	△9,166
その他の包括利益累計額合計	105,796	66,776
非支配株主持分	128,599	112,861
純資産合計	4,135,935	4,208,386
負債純資産合計	6,050,981	6,195,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	9,015,563	9,061,828
売上原価	6,869,184	6,939,815
売上総利益	2,146,379	2,122,012
販売費及び一般管理費	1,760,205	1,738,467
営業利益	386,173	383,544
営業外収益		
受取利息	1,926	2,727
助成金収入	4,325	3,400
その他	1,550	2,318
営業外収益合計	7,802	8,445
営業外費用		
支払利息	86	401
為替差損	4,897	10,434
貸倒引当金繰入額	10,259	△60
その他	262	264
営業外費用合計	15,506	11,040
経常利益	378,469	380,950
特別利益		
固定資産売却益	18	83
特別利益合計	18	83
特別損失		
固定資産除却損	4,930	0
和解金	5,500	300
その他	594	—
特別損失合計	11,025	300
税金等調整前四半期純利益	367,462	380,733
法人税、住民税及び事業税	75,910	86,525
法人税等調整額	△3,663	29,648
法人税等合計	72,246	116,174
四半期純利益	295,215	264,559
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	5,075	△2,856
親会社株主に帰属する四半期純利益	290,139	267,416

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	295,215	264,559
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	357	△126
為替換算調整勘定	△2,880	△60,940
退職給付に係る調整額	△3,642	9,166
その他の包括利益合計	△6,165	△51,901
四半期包括利益	289,049	212,658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	284,593	228,396
非支配株主に係る四半期包括利益	4,456	△15,737

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	367,462	380,733
減価償却費	86,111	66,101
のれん償却額	9,931	9,931
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10,369	16
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,290	21,128
賞与引当金の増減額(△は減少)	60,390	7,933
受取利息及び受取配当金	△1,926	△2,727
支払利息	86	401
為替差損益(△は益)	1,225	11,703
有形固定資産売却損益(△は益)	△18	△83
有形固定資産除却損	4,930	0
和解金	5,500	300
売上債権の増減額(△は増加)	△53,850	△4,463
その他の資産の増減額(△は増加)	40,171	△56,185
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,299	△7,210
仕入債務の増減額(△は減少)	14,248	△1,369
その他の負債の増減額(△は減少)	△139,034	8,041
未払消費税等の増減額(△は減少)	△50,306	△16,100
その他	△6	—
小計	353,278	418,149
利息及び配当金の受取額	199	16
利息の支払額	△86	△401
和解金の支払額	—	△300
法人税等の支払額	△13,318	△116,983
法人税等の還付額	112,074	121
営業活動によるキャッシュ・フロー	452,148	300,603
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△27,022
有形固定資産の取得による支出	△92,189	△65,230
有形固定資産の売却による収入	18	300
無形固定資産の取得による支出	△4,000	△129
定期預金の預入による支出	—	△70,000
定期預金の払戻による収入	—	70,000
差入保証金の差入による支出	△62,973	△17,648
差入保証金の回収による収入	3,731	10,910
貸付けによる支出	△76,218	△100
貸付金の回収による収入	1,378	70
建設協力金の支払による支出	△65,000	△80,000
建設協力金の回収による収入	2,669	3,642
投資活動によるキャッシュ・フロー	△292,581	△175,207
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	50,000
長期借入金の返済による支出	△3,396	—
リース債務の返済による支出	△1,503	△3,992
自己株式の取得による支出	△26	—
配当金の支払額	△119,368	△119,457
財務活動によるキャッシュ・フロー	△124,295	△73,450
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,064	△30,464
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	31,206	21,480
現金及び現金同等物の期首残高	1,941,074	2,178,617
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,972,280	2,200,098

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注1)
	アスモ 事業	アスモトレ ーディング 事業	アスモフ ードサービ ス事業	アスモ介 護サービ ス事業	ASMO CATERING (HK)事業	計	
売上高							
外部顧客への売上高	2,550	1,442,232	3,654,764	2,366,502	1,184,350	8,650,400	365,163
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	27,692	40,248	—	—	67,941	—
計	2,550	1,469,925	3,695,013	2,366,502	1,184,350	8,718,341	365,163
セグメント利益又は損 失(△)	△73,039	△19,326	192,237	251,904	24,174	375,950	10,656

	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高			
外部顧客への売上高	9,015,563	—	9,015,563
セグメント間の内部 売上高又は振替高	67,941	△67,941	—
計	9,083,505	△67,941	9,015,563
セグメント利益又は損 失(△)	386,606	△432	386,173

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	375,950
「その他」の区分の利益又は損失(△)	10,656
セグメント間取引消去	△432
四半期連結損益計算書の営業利益	386,173

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注1)
	アスモ 事業	アスモトレ ーディング 事業	アスモフ ードサー ビス事 業	アスモ介 護サー ビス事 業	ASMO CATERING (HK)事 業	計	
売上高							
外部顧客への売上高	2,463	1,435,878	3,814,794	2,392,853	1,044,226	8,690,215	371,613
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	24,637	52,077	—	—	76,715	—
計	2,463	1,460,515	3,866,872	2,392,853	1,044,226	8,766,930	371,613
セグメント利益又は損 失(△)	△88,040	47,152	193,159	231,514	△1,312	382,474	1,040

	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高			
外部顧客への売上高	9,061,828	—	9,061,828
セグメント間の内部 売上高又は振替高	76,715	△76,715	—
計	9,138,544	△76,715	9,061,828
セグメント利益又は損 失(△)	383,514	29	383,544

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	382,474
「その他」の区分の利益又は損失(△)	1,040
セグメント間取引消去	29
四半期連結損益計算書の営業利益	383,544

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

なお、当社の連結子会社である株式会社アスモフードサービスの給食事業を会社分割により、新たに設立した株式会社アスモフードサービス首都圏、株式会社アスモフードサービス東日本、株式会社アスモフードサービス中日本、株式会社アスモフードサービス西日本に事業の一部を承継させる新設分割をいたしました。詳しくは平成28年8月12日付で開示しております「子会社の会社分割(新設分割)及び孫会社の異動(取得)に関するお知らせ」及び「第5 経理の状況 注記事項 (企業結合等関係)」をご参照ください。これによる当第2四半期連結累計期間における報告セグメントに変更はありません。